



Cisco ASR 907 ルータの概要

Cisco ASR 907 ルータの 7 ラック ユニット ルータは、Cisco ASR90x ファミリのルータです。このルータは、GSM、UMTS、LTE、および CDMA 用の IP RAN ソリューション向けシスコ製品を補完するものです。フォームファクタ、インターフェイスタイプ、GigabitEthernet 密度を考慮した場合、Cisco ASR 907 ルータは、キャリア イーサネット アグリゲーション プラットフォームとして配置することもできます。

Cisco ASR 907 ルータは、低コストでありながら、完全冗長と集中型フォワーディングを備え、対応温度が拡張された柔軟なプリアグリゲーションルータです。

- [Cisco ASR 907 ルータの機能, 1 ページ](#)
- [インターフェイスの番号付け, 17 ページ](#)
- [適合規格, 17 ページ](#)

Cisco ASR 907 ルータの機能

Cisco ASR 907 ルータの主要機能は、特にギガビットイーサネット (GE)、TDM、10GE、40GE、100GE などの複数のインターフェイスを組み合わせる使用する場合に、プラットフォームごとおよびラックユニットインターフェイスの密度を増やすことです。

Cisco ASR 907 ルータには、次のハードウェア機能があります。

- 幅広いサービススケールと高スループット (400G) のルートスイッチプロセッサ (RSP) : A900-RSP3C-400-W
- 1 ポート 100GE インターフェイス モジュール (A900-IMA1C)
- 2 ポート 40GE インターフェイス モジュール (A900-IMA2F)
- 新しい RSP モジュールに電源を供給する 1200 W の PSU

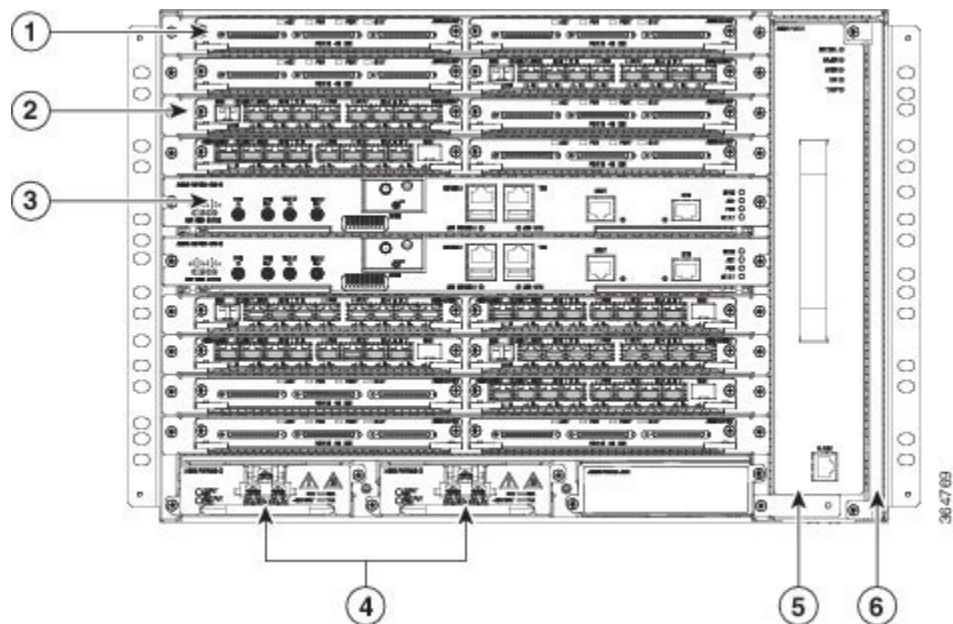
Cisco ASR 907 ルータは、次の特定のコンポーネントを備えています。

- 大型シャーシ : 薄さと横方向のエアフローを維持した 7 ラック ユニットの高さ。
- 取り外し可能なダスト フィルタ付きの大型ファントレイ。

- 新しいフォーム ファクタとより高性能な RSP : この高性能 RSP は、オーバーサブスクライブ モードで 480 Gbps の集約スイッチング容量を備えています。
- バックプレーンと RSP は共に、8x10GE および 100GE モジュールといった高密度の 10GE モジュールをサポートするようにプロビジョニングされています。
- システムで空気の方向を変え、前面から背面へのエアフローによる冷却を可能にするエアフローバッフル。
- 16 のホットプラグ対応インターフェイスモジュール（シングル幅）による柔軟な I/O 構成。たとえば、オーバーサブスクライブ モードで RSP3-400-W を使用した場合は次のとおりです。
 - 16x10G + 2x100G + 80x1G
 - 48x10G
- TDM pseudo-wire サポート付きの Metro ENET スwitching機能。
- ネットワーク プロセッサにより、指定の OAM および管理パケット（CCM、BFD、LBM など）に対する、コントロールプレーン CPU 処理を柔軟にオフロードできます。
- テーブル方式のパケット処理エンジンによる柔軟な ENET 処理。
- システム動作中のすべての FRU（GPS モジュールを除く）の活性挿抜（OIR）。
- 電源装置（1+1）：AC と DC の両方の電源に対応。1 つの電源装置でシステム全体の負荷をサポートできます。システムに 2 つの PSU がある場合は、ロードシェアリングモードで動作します。
- 冗長連結されたコントロールプレーンおよびデータプレーン（インターフェイスを除く）、タイミグサポート、電源装置、ファンを備えた完全冗長システム。
- 冗長コントロールプレーンとデータプレーン、およびタイミグのアクティブとスタンバイのサポート。
- シャーシ内 IOS の冗長性（両方の RSP が必要）。
- アクティブ RSP とスタンバイ RSP 間のステートフルスイッチオーバー（50 ms）（IOS でサポートされるプロトコル用）。
- 同じ RSP でサポートされる In-Service Software Upgrade（ISSU）。
- ネットワーク周波数と時刻（SyncE、BITS、1PPS/10MHz I/O、IEEE 1588-2008、NTP など）の受信および配信のタイミグのサポート。
- ENET OAM のサポート。
- NEBS GR-1089 に準拠する T1/E1 回線の保護。

次の画像は、Cisco ASR 907 ルータのシャーシ設計を示しています。

図 1: Cisco ASR 907 ルータのシャーシ設計



| | | | |
|---|---------------|---|----------------------------------|
| 1 | インターフェイスモジュール | 2 | IM キャリアプレート |
| 3 | RSP ユニット | 4 | 冗長電源ユニット (2台の DC 電源ユニットが示されています) |
| 5 | ファントレイ | 6 | ファントレイフィルタ |

システムの仕様

次の表に、Cisco ASR 907 ルータのシステム仕様および環境要件の要約を示します。

表 1: Cisco ASR 907 ルータのシステム仕様

| | |
|--------------------|--|
| 外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行) | 12.224 インチ X 17.426 インチ X 9.33 インチ |
|--------------------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| FRU の寸法 | 12.224 インチ X 17.426 インチ X 10.705 インチ (注) シャーシの表面からハンドルが突き出すため、奥行が深くなります。 |
| 重量 | |
| バックプレーン搭載のシャーシ | 15.868 kg |
| ファントレイ | 3.618 kg |
| 1200 W DC PSU | 0.924 kg |
| 1200 W AC PSU | 1.0 kg |
| RSP (RSP) | 2.46 kg |

| | |
|--------|--|
| 動作温度 | <p>Cisco ASR 907 ルータ（業界の温度光ファイバを使用）は、1800mの動作高度で次の温度範囲をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • -40 °C ~ 65 °C |
| 非動作時温度 | -40 °F ~ 158 °F (-40 °C ~ +70 °C) の保管温度 |
| 動作湿度 | 5 ~ 95 % の結露しない動作相対湿度 |
| 動作高度 | 完全動作温度範囲で -60 ~ 1800 m の動作高度 (最高 40 °C で最大 4000 m) |
| 非動作時高度 | -60 ~ 4570 m の保管高度 |
| 振動 | 1.0 g、1.0 ~ 150 Hz |
| 衝撃 | 30 G 半正弦波、6 および 11 ミリ秒 |
| 非動作時振動 | <p>ランダム : 1.15 gRMS、3 ~ 200 Hz、30 分/軸</p> <p>正弦波 : 10 ~ 500 Hz @ 0.8 G ピーク/5 スイープサイクル/軸</p> |

| | |
|--------|---|
| 動作時の音響 | NEBS 標準 GR-63 に従い 27 °C で 76 dBA 未 満 |
|--------|---|

GNSS モジュール (A900-CM-GNSS)

GNSS モジュールは RSP 上にあります。外部アンテナに直接接続できる着脱可能モジュールです。



(注) 両方の RSP に対して単一の GPS アンテナ入力を使用するには、外部スプリッタを使用する必要があります。



警告 火災の危険性を抑えるため、必ず 26 AWG 以上の太さの電話線コードを使用してください。ステートメント 1023



(注) GNSS モジュールは、ホットスワップ可能ではありません。

GNSS モジュールの RF 入力の要件

- GNSS モジュールの最適なパフォーマンスを得るには、低ノイズ増幅器 (LNA) が組み込まれたアクティブ GPS/GNSS アンテナが必要です。アンテナの LNA は、次の 2 つを目的として、受信した衛星信号を増幅します。
 - ケーブルの損失の補償
 - レシーバフロントエンドに適した範囲内での信号振幅の増加

必要な増幅は、22 dB ゲイン + ケーブル/コネクタ損失 + スプリッタ信号損失です。

レシーバモジュールのコネクタで推奨される LNA ゲインの範囲 (LNA ゲインからすべてのケーブル/コネクタ損失を引いたもの) は、22 ~ 30 dB (20 dB 以上 35 dB 以下) です。

- GNSS モジュールは同じ RF 入力を介してアクティブアンテナに 5 V を供給します。
- サージ要件は次のとおりです。
 - GNSS モジュールの RF 入力ピンを含むすべてのピンに、ESD 保護が組み込まれている必要があります。ただし屋上アンテナが接続されている場合は、最終製品が設置されている国の避雷器に関する規則および基準を満たすために、追加の電力サージ保護が必要になることがあります。

- 避雷器は、アンテナケーブルが建物に引き込まれている場所に取り付ける必要があります。メインの避雷器は、危険性のあるすべての電気エネルギーを PE（保護アース）に伝導できる必要があります。
- 避雷器は DC パスをサポートし、低衰減で GPS の周波数範囲（1.575GHz）に対応する必要があります。
- アンテナの天空視認性については次のとおりです。
 - GPS 信号はアンテナと人工衛星の間が直接視認できる場合にのみ受信できます。アンテナからは可能な限り上空全体が視認する必要があります。適切なタイミングで、4 台以上の衛星がロックされる必要があります。



(注) アンテナ端末は、National Electrical Code (NEC) の ANSI/NFPA 70（特にセクション 820.93 「Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable」）に従って、建物の入口に接地する必要があります。

- 複数の GNSS モジュールが単一のアンテナに接続している場合は、パッシブ スプリッタを使用します。

電源装置に関する情報

Cisco ASR 907 ルータでは、スロット 0 およびスロット 1 で 2 台の 1200 W DC/AC 電源装置を使用できます。



(注) スロット 2 はそのまま使用せずに、PSU ブランクのみを挿入してください。

AC および DC 電源装置は以下に対応しています。

- -40.8 VDC ~ -72VDC
- 85 VAC ~ 264 VAC

電源装置はホットスワップ可能です。これらは、高電圧に感電しないように閉鎖されているため、電源ケーブルのインターロックは不要です。ただしシャーシから取り外すと、電源装置は自動的にシャットダウンします。電源装置は、システムの他の FRU に 1200 W（+12 VDC で 100A まで）を供給し、シャーシの動作温度より 5 °C 高い温度で動作するように定格されています。

AC および DC 電源装置の仕様については、次の表を参照してください。

表 2: DC 電源装置の仕様

| | |
|---------|----------------|
| 製品番号 | A900-PWR1200-D |
| 入力電力の仕様 | 48 V、GND、-48 V |

| | |
|--------------------|---|
| 最小入力電圧 | -40.8 VDC |
| 最大入力電圧 | -72 VDC |
| 出力電圧 | +12 VDC |
| DC 入力電源接続用のワイヤ ゲージ | -48/-60 VDC で最小 8 AWG。 コネクタには最大 8 AWG を接続できます。 |
| 最大電力出力 | 1200 W |

表 3: AC 電源の仕様

| | |
|---------|-----------------|
| 製品番号 | A900-PWR1200-A |
| 入力電力の仕様 | 115 VAC/230 VAC |
| 入力電圧 | 85/264 VAC |
| 最小入力電圧 | 85 VAC |
| 最大入力電圧 | 264 VAC |
| 最小出力電圧 | 12V |
| 最大出力電圧 | 12.4 V |
| 最大電力出力 | 1200 W |

Cisco ASR 907 ルータの電源装置の取り付け方法については、「[電源装置の取り付け](#)」を参照してください。

冗長性

Cisco ASR 907 ルータのシャーシには、オプションの冗長電源用スロットが含まれています。冗長電源オプションは第 2 電源を用意し、一方の電源が故障した場合、またはあるラインで入力電力障害が発生した場合に、電力がシャーシに途切れることなく、連続して供給されるようにします。冗長性は、同一の電源または AC 電源と DC 電源の組み合わせのいずれかでサポートされています。Cisco ASR 907 ルータでは、電源装置間で電流を共有できます。

Cisco ASR 907 ルータに冗長電源を取り付ける場合は、停電、配線の不具合、回路ブレーカー落ちによる電源の中断時に、ルータが電源を保持できるように、それぞれの電源装置を別の入力電源に接続することを推奨します。

Dying Gasp

Cisco ASR 907 ルータの DC 電源装置は Dying Gasp 機能をサポートしていません。

ステータス LED

各電源の入力電力の状態と電源の状態を示すために、各電源にはLEDもあります。Cisco ASR 907 ルータの LED の詳細については、「[トラブルシューティング](#)」を参照してください。

ファントレイ

次のファントレイ モジュールがルータでサポートされます。

- A907-FAN-E

ASR907 ファントレイは次のファンを使用します。

- 4 個のデュアル ローター ファン：PSU 部分の冷却
- 12 個のファン（4 つのファンに 3 つの支柱）：RSP および IM 部分用の 60 X 60 X 38 mm のファン

ファントレイのハードウェア機能は次のとおりです。

- 側面から側面への強制空気冷却の提供
- 冗長ファンの提供
- 現場交換可能
- ステータス LED 内蔵

エアフローの注意事項の詳細については、「[エアフローに関する注意事項](#)」を参照してください。ファントレイの取り付け方法については、「[ファントレイの取り付け](#)」を参照してください。ファントレイの LED の概要については、「[LED の要約](#)」を参照してください。

ダスト フィルタ（A907-FAN-F）

ファントレイのダスト フィルタは、85% 防塵の Quadrafoam 45 PPI フィルタです。ファン フィルタの取り付けについては、「[ダスト フィルタの取り外しと取り付け](#)」を参照してください。

エア プレナム（A9X7-F2B-AIR）

エア プレナムまたはエア バッフルアセンブリは、ユニットのエア フローのパターンを変更するために使用します。ルータにプレナムを取り付けると、エアフローのパターンは側面から側面ではなく、前から後ろへと変更されます。前から後ろへ向かうエアフローのパターンは、

前面が涼しく、背面が熱くなる、ラックの設置ベイを提供します。プレナムを取り付ける方法については、「[エアプレナムへのシャーシの取り付け](#)」を参照してください。



(注) エアプレナムとファンフィルタをシャーシに取り付けた場合、システムの動作温度は 55°C です。

RSP のモジュール

Cisco ASR 907 ルータは、最大 2 台の RSP モジュールを使用してルータのデータプレーン、ネットワーク タイミング、およびコントロールプレーン機能処理するように設計されています。RSP の設定では、Cisco IOS ソフトウェアを使用してシャーシ管理、冗長性、外部管理、およびルータのシステム状態の表示を制御できます。

RSP の機能は、次のとおりです。

- プロセッサ ベースのインターフェイス モジュールへのソフトウェアのロード
- 冗長 RSP の管理 : RSP の検出、健全性およびステータス情報の交換、ロールネゴシエーション、検出機能、健全性とステータスの交換、ロールネゴシエーションの RSP による管理
- パケット処理
- バッファリング、キューイング、およびスケジューリングを含むトラフィック管理、イーサネット MAC 機能
- BITS、1 PPS、10 MHz、および 1588 PTP クロック基準の位相と Time-of-Day を含む、ネットワーク クロッキング機能
- ソフトウェア イメージ、システム構成、Syslog の保管
- SETS への入力として PTP 周波数と位相基準を生成してダウンストリーム PTP クロックに分散するため、アップストリーム PTP クロックからネットワーク タイミング（周波数、位相、および時間）をリカバリする IEEE 1588-2008 を含む、PTP パケット処理
- 外部管理インターフェイス（RS232 コンソール、管理 ENET、USB コンソール、USB ストレージ）およびシステム ステータス LED インジケータ

サポートされる RSP

有効な Cisco IOS-XE リリース 3.16 では、Cisco ASR 907 ルータが次の RSP をサポートします。

- A900-RSP3C-400-W : すべての ASIC に 8 GB の SDRAM、20 MB の TCAM メモリを提供します。

RSP は、ユーザトラフィック用の外部ネットワーク インターフェイスを提供しません。すべてのネットワーク インターフェイスは個別の IM を介して提供されます。

サポートされる RSP 機能

RSP は、シスコのルータに次の機能を提供します。

- 集中型データ プレーン、タイミング、およびシステムのコントロール プレーン機能
- インターフェイス モジュールの高度なコントロール
- ルータの管理機能
- IOS-XE およびプラットフォーム制御ソフトウェアを実行するコントロール プレーン (ホスト) CPU と関連メモリ
- ソフトウェア イメージ、構成、システム ファイルを保管するための不揮発性メモリ
- ファントレイ、インターフェイス モジュール、および電源の状態とプレゼンスの有効化とモニタリング
- 現場交換およびホット スワップ機能

インターフェイス モジュールのスワップ

次のイーサネット インターフェイス モジュールは、Cisco A900-RSP3C-400-W モジュールでのスワップをサポートしています。

- 8 ポート ギガビット イーサネット SFP インターフェイス モジュール (8X1GE)
- 8 ポート ギガビット イーサネット RJ45 (銅線) インターフェイス モジュール (8X1GE)
- SFP コンボ IM : 8 ポート ギガビット イーサネット (8X1GE) および 1 ポート 10 ギガビット イーサネット (1X10GE)
- 銅線コンボ IM : 8 ポート ギガビット イーサネット (8X1GE) および 1 ポート 10 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (1X10GE)
- 2 ポート 10 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (2X10GE)
- 2 ポート 40 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (2X40GE)
- 1 ポート 100 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (1X100GE)
- 1 ポート OC-192 または 8 ポート低レート CEM インターフェイス モジュール
- 48 T1/E1 TDM インターフェイス モジュール (48XT1/E1)
- 48 T3/E3 TDM インターフェイス モジュール (48XT3/E3)

インターフェイス モジュールでインターフェイスをデフォルト設定するには、モジュールのスワップを実行する前に、**hw-modulesubslotdefault** コマンドを使用します。



(注) **hw-modulesubslotdefault** コマンドは、TDM および OC-3 インターフェイス モジュールではサポートされません。

このコマンドを実行しないと、インターフェイスがアウトオブサービス状態になる可能性があります。アウト オブ サービス状態から回復させるには、次の手順を実行します。

- 元の IM を挿入し、**hw-modulesubslot0/baydefault** コマンドを実行します。モジュールをスワップします。詳細については、『Cisco IOS Interface and Hardware Component Command Reference』を参照してください。
- モジュールが起動しない場合は、ルータのリロードを実行します。

サポートされるインターフェイス モジュール

RSP でサポートされているインターフェイスモジュールの詳細については、『Cisco ASR 903 Router Hardware Installation Guide』を参照してください。

表 4 : A900-RSP3 でサポートされるインターフェイス モジュールと製品番号

| RSP モジュール | インターフェイス モジュール | 部品番号 | スロット |
|------------------|---|------------------|-------------------------|
| A900-RSP3C-400-W | 8 ポート ギガビット イーサネット SFP インターフェイス モジュール (8X1GE) | A900-IMA8S | 0、1、2、5、6、9、10、13、14、15 |
| | 8 ポート ギガビット イーサネット RJ45 (銅線) インターフェイス モジュール (8X1GE) | A900-IMA8T | 0、1、2、5、6、9、10、13、14、15 |
| | 1 ポート 10 ギガビット イーサネット XFP インターフェイス モジュール (1X10GE) | A900-IMA1X | 未サポート |
| | SFP コンボ IM : 8 ポート ギガビット イーサネット (8X1GE) および 1 ポート 10 ギガビット イーサネット (1X10GE) | ASR900-IMA8S1Z | 2、5、6、9、10、13、14、15 |
| | 銅線コンボ IM : 8 ポート ギガビット イーサネット (8X1GE) および 1 ポート 10 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (1X10GE) | ASR900-IMA8T1Z | 2、5、6、9、10、13、14、15 |
| | 2 ポート 10 ギガビット イーサネット インターフェイス モジュール (2X10GE) | ASR900-IMA2Z | 3、4、7、8、11、12 |
| | 16x T1/E1 インターフェイス モジュール | A900-IMA16D | 未サポート |
| | 4 ポート OC3/STM-1 (OC-3) または 1 ポート OC12/STM-4 (OC-12) インターフェイス モジュール | A900-IMA4OS | 3、4、7、8、11、12 |
| | 14 ポート シリアル インターフェイス モジュール | A900-IMASER14A/S | 未サポート |

| RSP モジュール | インターフェイス モジュール | 部品番号 | スロット |
|-----------|---|----------------|---------------------------------|
| | 8 x T1/E1 インターフェイス モジュール | A900-IMA8D | 未サポート |
| | 32 x T1/E1 インターフェイス モジュール | A900-IMA32D | 未サポート |
| | 1x100G インターフェイス モジュール | A900-IMA1C | 7、8 |
| | 2x40G インターフェイス モジュール | A900-IMA2F | 3、4、7、8、11、12 |
| | 8x10G インターフェイス モジュール | A900-IMA8Z | 3、4、7、8、11、12 |
| | 1 ポート OC-192 または 8 ポート低レート CEM インターフェイス モジュール | A900-IMA8S1Z-C | 3、4、7、8、11、12 |
| | 48XT1/E1 インターフェイス モジュール | A900-IMA48D-C | 0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、13、14、15 |
| | 48XT3/E3 インターフェイス モジュール | A900-IMA48T-C | 0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、13、14、15 |

RSP 冗長化

Cisco ASR 907 ルータのシャーシには、冗長 RSP を可能にする 2 個の RSP スロットが含まれます。ルータが冗長 RSP を使用すると、一方の RSP はアクティブ モード、もう一方はホットスタンバイ モードで動作します。アクティブ RSP の取り外し時や障害発生時には、スタンバイ RSP に自動的に切り替わります。



(注) 冗長 RSP を使用する場合、2 台の異なる RSP タイプの混在構成はサポートされていないため、両方の RSP が同じタイプである必要があります。

ネットワーク タイミング インターフェイス

RSP は、次のネットワーク タイミング インターフェイスをサポートしています。

- BITS 入出力ポート：RJ48 ジャック

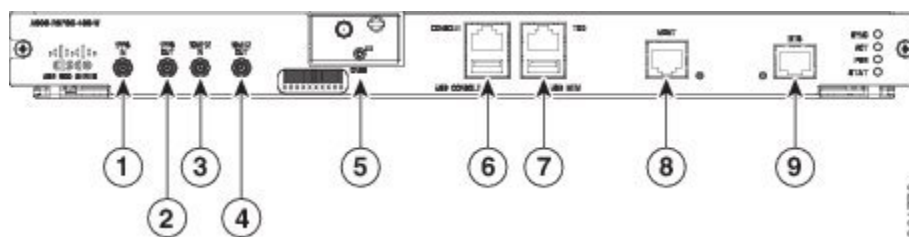
- 1 PPS 入出力 : ミニ同軸コネクタ
- 2.048 または 10 MHz 入出力 : ミニ同軸コネクタ
- Time of Day (ToD) または 1 PPS 入出力ポート : シールド付き RJ45 ジャック

ネットワーク タイミング インターフェイスは、冗長 RSP コンフィギュレーションで冗長性をサポートします。RSP がホットスタンバイ モードの間、冗長 RSP のネットワーク タイミング インターフェイスは動作したままになります。

RSP インターフェイス

次の図に、RSP モジュールのインターフェイスの要約を示します。

図 2: RSP インターフェイスの概要



| ラベル | インターフェイス |
|-----|--------------------------|
| 1 | 1 PPS 入力タイミング ポート |
| 2 | 1 PPS 出力タイミング ポート |
| 3 | 10 MHz 入力タイミング ポート |
| 4 | 10 MHz 出力タイミング ポート |
| 5 | GNSS RF IN (SMA ネジ式コネクタ) |
| 6 | USB コンソール ポート |
| 7 | USB メモリ ポート |
| 8 | イーサネット管理ポート |
| 9 | BITS タイミング ポート |

インターフェイス モジュール

ネットワーク インターフェイスは、着脱可能インターフェイス モジュールを介して提供されません。

次のリストに、各種の IM ポート密度を示します。

- GE SFP ポート：100/1000 モードをサポート
- GE 銅線 RJ45 ポート：10/100/1000 の動作をサポート
- 10GE SFP+ または XFP ポート：Phase2 IM の 10G モードをサポート
- Phase2 IM の 10GE ポート：LAN、WAN、OTU1e/2/2e の動作モードをサポート
- 2X40 GE インターフェイス モジュール：QSFP モードをサポート
- 統合局間電力サージ保護付き T1/E1 ポート：TDM チャネライズド、PWE3 処理、および ATM IMA バンドルをサポート
- ATM および CE による chOC3/STM1：DS0 以上をサポート（同時にすべてのチャンネルをサポートすることは不可）
- ATM および CE による chOC12/STM4：DS0 以上をサポート（同時にすべてのチャンネルをサポートすることは不可）
- ATM および CE による OC3c/STM1c
- ATM および CE による OC12c/STM4c
- GE IM の RAD SFP を介した DS3
- 1x100G IM を使用する 100GE CPAK ポート
- 統合局間電力サージ保護付き T1/E1 ポート：TDM チャネライズド、PWE3 処理をサポート
- T3/E3 ポート：TDM チャネライズド、PWE3 処理をサポート
- OC3/OC12/OC48/OC192：TDM チャネライズド、PWE3 処理をサポート



(注) サポートされるインターフェイス モジュールの詳細については、『*Cisco ASR 900 Series Aggregation Services Routers*』のデータシートを参照してください。

温度センサー

Cisco ASR 907 ルータは、シャーシ内部の過熱状態を検出するための温度センサーを備えています。動作温度範囲は -40 ~ +65 °C です。この範囲外の温度は割り込みとしてプロセッサに報告され、ソフトウェアは適切なアラームを生成するアクションを実行します。

インターフェイスの番号付け

次に、スロットまたはポートの番号付けについて説明します。

- 番号付けの形式は、**Interfacetype/slot/interfacenumber** です。インターフェイス（ポート）番号は、インターフェイスタイプごとに論理 0 から始まります。
- インターフェイス モジュール スロットは下から上に番号が付けられていて、各モジュール上の論理インターフェイスは左から右に番号が付けられます。インターフェイスは配線済みです。そのため、ポート 0 は常に論理インターフェイス 0/0、ポート 1 は常に論理インターフェイス 0/1 などになります。

次のコマンドを実行すると、アクティブ RP のスロット番号が表示されます。インターフェイスモジュールは、0/x ではなく 1/x で表されます。

- **showdiagallepromdetail**
- **showplatformsoftwaretracemessageiomd**
- **showplatformsoftwareagentiomd**
- **showplatformsoftwarepeershell-managerbrief**
- **showplatformsoftwarepeerchassis-manager**
- **showplatformsoftwarememoryiomd**
- **setplatformsoftwaretraceiomd**

適合規格

法規制の遵守および安全上の注意事項については、『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ASR_900 Series Aggregation Routers』マニュアルを参照してください。

